

野菜
摂取

企業の垣根超え推進

カゴメ

体験イベントや啓発活動

8月31日の「野菜の『摂る』から『楽しむ』」に向け、カゴメとロック・フィールドは今日、都内で体験型イベント「野菜の力を、おいしく知る日」を開催した。ロック・フィールドメンバーズ会員、コミュニティサイト「&KAGOME」会員から計78人が参加した。

イベントは、「野菜を選べる試食コーナー」なども設けられた。終盤には両社の担当者によるトークセッションも行われ、サラダづくりや野菜ジュースへのこだわりが語られた。来場者からは、商品開発者の話を直接聞けてとても興味深かった、自分でも野菜が摂れていないと気付いた、などの声が寄せられた。

両社は2025年3月に業務提携を締結し、「野菜と共に創る未来プロジェクト」として協業を続けており、今後も店頭施策や情報発信を通じて活動を継続する方針だ。

野菜をとうろふフォーラム「ナトカリの日」を制定



ロック・フィールドの人気商品「緑の30品目サラダ」の魅力を紹介



「ナトカリの日」の認知拡大へ（左から）佐々木健介氏、北斗晶氏、山之内すず氏、滋賀医科大学 三浦克之教授

ら「野菜をとうろふ350g」を掲げ、賛同する22の企業・団体とともに「野菜摂取推進プロジェクト」も推進している。先月20日には都内で「野菜をとうろふフォーラム2026」を開催し、約300人が参加。タレントの佐々木健介・北斗晶夫妻、山之内すず氏らがトークセッションに登壇し、野菜の魅力や楽しく摂る方法などについて語り合った。

また、滋賀医科大学の三浦克之教授が、塩分とカリウムのバランスを示す指標「ナトカリ比」について解説。ナトリウムの原子番号（11）とカリウムの原子番号（19）にちなみ、11月19日を「ナトカリの日」に制定したことも発表された。

「ナトカリ比」とは、食塩の主成分であるナトリウムと、野菜や果物に多く含まれるカリウムの比率のこと。減塩に加えてカリウムを積極的に摂ることで、この比率を下げ、カリウムが余分なナトリウムを体外に排出し、高血圧や循環器病の予防になるとされている。「ナトカリ比」の認知拡大をめざし、今回「ナトカリの日」の制定に至った。

カゴメでは今後もさまざまなイベントを通じ、日本の野菜不足解消に取り組んでいく。